令和4年度第3回志摩市子ども・子育て会議議事録

日時:令和5年2月21日(火)

17:30~19:00

事務局:開会あいさつ

会長 :中條教授あいさつ

事務局:委員18名中15名出席

参加者過半数以上の出席を確認したため会の成立を報告。

配付資料の確認

会長 :議事の確認

事務局:志摩市における子ども・子育て支援サービスの見込量(需要量及び確保の方策)の状況について資料1を用いて説明。

会 長:ありがとうございました。

質疑に入る前に、一つ確認をしておきたいのですが、評価点のところのABCD等の評価については、資料1の1ページにAが目標を上回って達成、Bが目標をほぼ達成、Cは目標下回った、Dは目標を大きく下回った、Eは利用がなかった、Fが未実施ということで、今回CとDがいくつかついていますが、この評価点の評価表にのっとって評価されているということになります。

それではただいま事務局から説明のありました内容につきまして、点検及び評価をする必要がございますので、まず委員の皆様からご質問等ございましたら、この場でよろしくをお願いします。

項目が多いですがどこからでも結構ですので、ご意見等ございましたら、あるいは質問等でも結構ですので、よろしくをお願いします。

委 員:すみません失礼します。

私は志摩子育て支援センターの竹内です。

前回の会議でも同じようなことを言ってしまったと思うのですが、本当に小さな意見として聞いていただけたらと思います。

子育て中の保護者の中には、子育て支援センターの存在を知らないという方もいますが、そういう方に知ってもらって利用してもらうことが、利用者の増加に繋がっていくのだと思います。

今年度利用された方の中で、乳幼児健康相談に来たときに、こんなところがあ

ったのですね、普段も来てもいいですかと聞かれたことがありました。
いつでもどうぞと答えると、そのあと何度も利用されて、もっと早く知っていたらよかったなあ。とも言ってみえました。
また、その方とは別の方ですが、お孫さんと一緒に利用されたおばあちゃんですが、公園とかで遊ばせたりしたいけど、おもちゃが大きくて危ないのでと言って、子育て支援センターを利用してくれました。
子育て支援センターに置いてある2、3段のジャングルジムとすべり台が付いている遊具でお孫さんを遊ばせながら、こんな小さい子たちが遊べるようなものもあるといいけどね、と言ってみえました。
利用される方は、安全に遊べる場所っていうのを求めているのだなと思いました。やはり子育て支援センター間での情報を出し合いながら、より良いサービスとは、というところをもっと追求していく必要があるのかなと感じました。
以上です。

会 長:ありがとうございます。
事務局から何かございましたら。

事務局:そうですね。やはりこういう場所があるっていうのを知ってもらうっていうのは本当に大事なことなのかなと思っています。
志摩市でもホームページをリニューアルして、子育て支援センターのお便り等をお知らせをされていて、ゆくゆくはLINE等でもお知らせできたらと思っています。
子育て世代の保護者の方たちに、目に留まるような周知の方法も考えていきたいなと思っています。

会 長:今回のこの(資料1)今後の方針のところ、例えば一時預かりのところは、利用者拡大のための広報誌等による周知を図っていきます。とありますので、ぜひともこの子育て支援拠点事業ですよね、ここのところでも、是非ともそのような文言を入れていただいて周知を図っていただければと思います。
委員いかがです。

委 員:はい。ありがとうございました。

会 長:ではそれでよろしくお願いします。
その他、どの項目でも結構ですので、何かご意見、あるいは質問等ございましたらよろしくお願いします。

委員:すみません。

ファミリー・サポート・センターのところですけども、今回20人となっていますが、前回の時(第1期事業計画)に、70人だったのですけれど、70人から20人に減少してもまだまだ利用者が少ないというので、維持できるのですか。

事務局:こちらの計画の方で、冊子(第2期事業計画)の69ページですね。子育て援助活動事業(ファミリー・サポート・センター事業)というところで毎年の計画量の見込みと確保の方策が載っています。

今、ファミリー・サポート・センターを实际使っていただいている利用者の方は学校への送迎であったりとか、塾等への送迎であったり、もしくはイベントの託児なんかでも、預かりなんかを利用していただいている方が見えます。この部分については、まだまだもしかしたら潜在的な利用があるのではないかと、いうところで、志摩市としては今後力を入れていきたいとは思っています。

委員:ありがとうございます。うちも子育てサークルをやっているのですが、その中でお母さんたちが、ファミリー・サポート・センターを利用しようと思って問い合わせをしても、預かってくれる人がいないと言っているお母さんたちがいましたので。今日見たら、利用者が少ないので、だから需要と供給のバランスがとれていないのですか。

事務局:実際は、頼みたい状況の保護者の方と預かってくれるその提供会員さんの減少が課題とはなっています。

委員:大体、子育て中のお母さんが会員登録できるのですでしたか。最初に立ち上げた時は、私たちおばちゃんでもいいって言って会員になっていたのですが、今はそんな人があまり見えないような気がして。

事務局:もちろん、そういう方も大歓迎です。もう自分の子育て終わったもので、少し余裕があるのでお手伝いしたいわって言われる方も提供会員として活動していただいています。

委員:それが、自宅で預かりっていうふうになっているでしょう。なんかちょっと引っかかるようなところがあるような感じで皆さん登録されても、やはり自宅でみるということは、いろいろな面で考えている人もいるので、そこをなんかちょっと解決策があれば。

事務局:預かりの場所として子育て支援センターを使っていただくことはできます。

委員:でも時間内でもんね。

事務局:そうですね。

委員:あと短時間になってきますよね。

事務局:そうでね。

委員:今、結構要望している人も見えるみたいなので、もう少し対策や利用しやすいようなふうにしていただけたらよろしいかなと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

会長:はい。ありがとうございます。

今の意見だと潜在的にもっとこう活用したい人はいるってということがわかりましたし、やはりこの需要と供給のバランスがちょっと崩れているのもありそうですので、やはり人材の発掘とそれから預けやすい環境と預かりやすい環境ですね。

今なかなかこのいろんな状況があって、コロナだけでは片付けられないことも多くありますので、そのあたりまた整理整頓していただいて、ぜひともファミリー・サポート・センター事業が実のあるものというか、実際求めている方に上手く活用してもらえるような方法でまたお考えいただければと思います。

ありがとうございました。

先ほどの説明でいくとC評価、D評価はコロナの影響か、あるいは少子化に絡んでいるということが多かったのですが、そのあたりで、実はこういうのもあるのではないのとかあればまた教えていただければと思うのですが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

今回数字であらわれている部分が視覚的にとらえられますがまた見えない部分もあると思いますので、何かございましたら事務局の方に、ご意見いただければと思います。

それでは点検及び評価につきましては、事務局から説明がありました通り、事業計画に基づく事業の実績が見込み量を下回った事業もありますが、先ほどもお伝えしたようにコロナの影響、あるいは少子化の影響なども説明にありました。事業計画基本理念に沿った運営がなされていると、この会議体で判断して、評

価できるものとさせていただきたいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

では異議なしと認め今年度の評価としては、事業計画通り進められていると評価いたします。令和5年度においても、計画通り事業を進めていただくよう、よろしく願いいたします。

それでは次の議題に行きたいと思います。

次に(2)令和4年度の主たる事業実績について、進めていきたいと思います。

それでは事務局から説明をよろしく願いいたします。

事務局:それでは資料2-1から資料2-6までの主たる事業について順番に各課から説明をさせていただきます。

(こども家庭課から資料2-1について説明)

(健康推進課から資料2-2について説明)

(教育総務課から資料2-3について説明)

(学校教育課から資料2-4について説明)

(総合教育センターから資料2-5について説明)

(生涯学習スポーツ課から資料2-6について説明)

会 長:ありがとうございました。

各担当課・センターより、多岐にわたる事業実績の報告をしていただきました。

それではただいまの事務局からの説明にありました内容について、ご質問、ご意見等ございましたらよろしく願いします。

委 員:2つお願いします。

資料2-1の方で、幼稚園とか保育所での預かりの保育を午後7時までと書いてありますが、具体的な人数は結構ですが、私自身、放課後児童クラブをやっており、ここは6時までです。7時までやってないので、ニーズが高いのかどうかだけお聞かせいただければ結構です。

事務局:具体的なニーズということですが、すみません、今、手元に資料はないのですけれども保育所の7時までっていうところの部分で、大体のお子さん6時ぐらいまでで帰られるお子さんが多いですが、やはり保護者さんの就労の状況によりましては、6時半ぐらいまで使われるお子さんっていうのもちらほらはいらっしゃいます。

ただ、6時半から7時までっていうことになってきますと、緊急でのお預かりという部分にはなってきますので、ニーズはゼロではないですが、連続して使われ

るお子さんっていうのはそれほど高くはないかなというところで把握しているところですよ。

以上になります。

委員:ありがとうございます。もしニーズがすごく高いのであれば放課後児童クラブもゆくゆくは、そういうことも含めて検討していく必要があると思います。現状はそこまでではないと思います。わかりました。

あともう1点、資料2-6の生涯学習スポーツ課の方をお願いします。この5月8日からですね、新型コロナウイルスの方も5類の方に見直しがされるということで私も実は、磯部の放課後子ども教室の方に携わってまして、年に5回、磯部小学校でドッジボールとかを開催していました。一応、5月8日以降に関しては、原則論としては、行動制限はかかってこないと思うのですが、状況を見てまた活動は再開していけるみたいなイメージを持っておられるのでしょうか。

事務局:はい。ありがとうございます。

おっしゃる通り5類の方になるということで、現在でも感染状況は少しおさまりつつあるのですけれども、まだまだというところもありますので、活動の方は基本的には制限せずには、やっていけるような形で進めていけたらと。安全対策しながら、ということで、制限をかけるつもりは特には今現状ではございません。

委員:何かあれば、相談しながらやっていくという形になると思うのですが、またよろしくをお願いします。

以上でございます。

会長:はい。ありがとうございます。

やはりニーズ調査はきちんとしていただいて、連携取れるところはぜひとも連携して、やはり子どもの居場所づくり、あるいは健全にすくすく育っていく場所を提供していくことは大事ですので、先ほどのことも含めて全体的に連携できると、ぜひとも情報共有していただきたいと思います。

それと先ほどの5類に関しても、おそらくこのことだけじゃなく、いろいろな行事の部分で、どういうふうに進めていっていかってというのがあって、ぜひとも各課の方でまた連携とっていただいて、どういうふうにしていかってというのはまた発信をしていただけると、皆さん活動しやすいかなと思います。

ではこの2つ目の議題については以上にさせていただきます。また何かございましたら、事務局の方にお伝えいただければと思います。

それでは事項書の3つ目ですね。次に(3)の志摩市子ども・子育て支援事業計画

の中間見直し資料の公表について、ですがまず事務局の方から説明をよろしく
お願いします。

事務局:第2期志摩市子ども・子育て支援事業計画中間見直しの概要および内容につ
いて資料3-1、3-2を用いて説明。

会 長:ありがとうございます。

1点確認ですがこれは前回に子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の
見直し資料っていうのを使って、口頭でお話いただいたものを概要としてまと
めていただいたということですね。この数字の3-2の方に関しては前回の会議
ですでに審議済みの内容ということになります。これを数字の方見ていただい
て、こちらの概要の方ですね、まとめていただいたのでこれについてまた何かあ
ればということになります。

それでは事務局から今、特にこの概要の方の説明がありましたが、内容等につ
いて質問あるいは意見等ございましたらよろしくお願いします。

よろしいですかね。これは実際にこの概要を基にしよう修正公表をされていく
ということですね、これはいつですか。

事務局:この会議でご承認いただけたら、3月を目途に公表をしていきたいと思ってい
ます。

会 長:はい。わかりました。

では中間見直しをして、またさらにこの先にこれがまた見直し時期が来た時にこ
れをベースにして考えてく数字の一つということになります。

どうぞ。

委 員:はい。何度もしゃべってすみません。

こ3-2の裏面の資料のところ、自分の理解不足でしたら申し訳ないのですが、
地域子育て支援拠点事業のところ、令和6年度の899人となっている見直し
後の数字は899でよかったですか。

事務局:失礼しました。ここは修正をさせていただきます。

会 長:ということはちょっと確認ですが、令和5年度の見直し後、そのままの数字の
872ですね。

ありがとうございます。

では先ほどもお伝えしましたがこれ前回の、すでに審議済みのものになっていますので、この概要をつけて、また周知公表していただくということでよろしくをお願いします。

では計画の中間見直しについては、ここに示された通りとなりますので、よろしくをお願いいたします。

それではちょっと今日項目が多いですが、次4つ目になります。

次(4)の、志摩市公立幼保園の認定こども園への移行についてです。

それでは事務局から説明をよろしくをお願いします。

事務局:志摩市公立幼保園の認定こども園への移行について資料4を用いて説明。

会 長:それではただいま事務局から説明がありました内容につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらよろしくをお願いします。

各所園の園長先生方がかでしょう。よろしいですか、今のうちに何か要望とか。どうせなら、単にくっつけるのではなくて、もうちょっと要望とか何かあれば。これは全国的な傾向で、もう今、認定こども園の方に動いていくのは状況としては、そういうことになっています。

うちの大学でも養成機関ですが、もう数年前から保育士と幼稚園教諭を必ず両方セットで取りなさい。今は片一方でもいいのですが、両方とりなさいというふうな指導もしています。認定こども園に進んでいくのは全国的な傾向かなと思います。

私からちょっと1点よろしいですかね。認定こども園ってその形状であったりとか、教員の確保上であったりと効果があると言われているのですが、志摩市さんとして、子どもから見たときの利点といいますか、多分議会とかでもそういうのは、伝えられると思うのですが、どういうふうなことを子どもの視点から見たときの利点として、認定こども園に移行設置というふうにお考えでしょうか。もし何か回答があれば教えてください。

事務局:これまでですね幼保園ということで、同じ一つの施設の中で、0歳児から3歳児までの保育所と4, 5歳児の幼稚園っていうのが、総合ビルのようなイメージで、1つの建物に2つ運営母体というものがあつたような状況になります。

同じ施設でありますので、これまでも連携というのは図ってはいたのですけれども、これまで以上に0歳児から5歳児までのお子さんを一貫して、保育・教育を行うことができますので、就学前までに求められる姿っていうのがこれまでに以上に提供できるのかなと考えております。

以上になります。

会 長: はい。ありがとうございます。明快なお答えいただきましてありがとうございます。やはり現状実は、よく似た形に志摩市はほぼなっていますので、是非ともそこから一步も二歩も進んでですね、なるべく子どものためにという視点を忘れずに、認定こども園を運営していただければと思います。

そこには当然園長先生のお考えもありますし、各先生方もありますし、何より保護者の方のニーズもあると思いますので是非ともその辺も拾っていただいて、よりよい認定こども園を作っていただければと思います。

そのために議会で、是非とも頑張ってください、何とか通していただきたいと思います。

では委員、お願いします。

委 員: 主任児童委員しております山本ですよろしくお願いします。

先ほどの会長の話とちょっと関連しているのですけれども、世の中がこんなふうに認定こども園の方に移行していくというふうな動きになっています。

それがいよいよ志摩市にも、そういうふうな動きになっていくと言う形ですが、今までは保育所と幼稚園が同じ建物の中にただあるだけだと。プログラムも違いますし、目的も違いますし、というふうにきたわけですね。それで、建物が一つである故に、いろんな連携はしなければいけない。これはもう細かくされてきたと思うのですけれども。保育内容について、じゃあどこまで、どんなふうに展開していくのかっていうふうな研究もなかったですし、そういう研修もしてなかったと思います。保育所と幼稚園の良いところをあわせ持つ建物、その良いところをあわせ持つっていうのはどういうふうなことでしょうか、というのをこれからいろいろ積み重ねていかなければいけない、山積みのような状況だと思います。

それは保護者の方のニーズに応じた時間的なことだけではなくて、午後7時まで、全員ではないですけど預かる時間がすごく長いと言うことは、保育内容の時間的プログラムも全部やり直しをしなければいけないということですよ。子どもたちの疲労度とか、そこの保育士の疲労度とか、そういうふうなことをこれから研究して、作り上げていかなければいけないところなので、でも、ここには全然謳われてないのですけれどもそのための時間の確保、教職員の研修のための時間の確保をぜひお願いしたいと思います。

以上です。

会 長: はい。ありがとうございます。いかがでしょうか。

事務局: はい、委員がおっしゃられるようにやっぱり充実した保育内容であったり教育内容であったり、やはり求められるものであると思います。

これから準備期間に入っていきますので、保育所であったとしても幼稚園であったとしても就学前までに求められるお子さんの姿っていうのはやはり共通したものと認識しております。

同じく幼保連携型認定こども園っていうところにつきましても、幼保連携型の保育要領というものがございまして、そこに合わせて志摩市全体を通して、就学前までの保護者のお子さんの求められる姿っていうのを目指していくために、幼保連携型認定こども園だけではなくて、保育所であっても幼稚園であっても、常に研修っていうのは、各施設まず全体を通して必要になってくるかなと思っておりますので、その分の時間については確保していくように努めていきたいと思っております。

以上になります。

会 長: はい。ありがとうございます。

保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園の要領、厚労省と文科省の壁を越えて何とか近づけたっていうのもありますので。

ただ、実際やっぱり山本委員がおっしゃるように、現場レベルではまだまだそこら辺が研究不足というのも全国的にありますので、ちょっとしんどい面はあると思いますがぜひともそういうことも含めて、先生方が笑顔に働けるように、それが多分子どもの笑顔に必ず通じるので、山本委員のおっしゃられていることですごく重要だと思います。是非ともお考えいただきたい。特に研修時間の確保ってほんと大変だと思いますので、どうしてもビルドばかりしてスクラップしないのでどこかで何か減らして研修時間を増やすとかですね、そういう方策も考えていただきたいと思っております。

他にいかがでしょう。

では委員、お願いします。

委 員: あんまり、大きなことではないのですが、総称としてはこの施設はどういう名前になるのでしょうか。どんなふうに、幼稚園とか保育園とかのように総称になるのですか。これからは認定こども園ですとかっていうのが、我々一般がちょっと理解し難くて。わかりやすく、総称をつけてもらえばありがたいです。

事務局: その辺りの名称につきましても、来月議会の方でお諮りさせていただく条例にて、謳わせていただく予定になっております。

これまでの保育所と幼稚園とまた別で、こども園というような格好でまた皆さ

んに親しみやすいといいますかこの、例えば磯部であると、ひまわり保育所とか、ひのでが丘保育所といったような総称な感じではないですけども、名前を言ってもらったらこの施設という理解してもらいやすい、わかりやすい名前をつけていこうかと思っておりますのでまたよろしくお願いします。

委員:一般の人にも理解できるような、わかりやすい名前でよろしくお願いいたします。

会長:はい。ありがとうございます。

他いかがでしょう。

できるだけやっぱり子どものために、施設を充実させることをお願いしたいと思います。次に(5)その他ですが、事務局から何かありましたらよろしくお願いします。

事務局:特にありません。

会長:はい。では、議事は以上で終わりです。

それでは、以上議事自体はこれで終了になりますが、他に何か委員の皆さんからはございませんでしょうか。

議事以外のところでご意見あればお伺いしたいですが、よろしいですか。

事務局からはいかがでしょうか。

事務局:はい。事務局から1点だけお願いします。次回の会議の開催についてなんですけれども、次回は年度が変わって、6月頃の開催を予定しております。

来年度は第3期の計画のためのアンケート調査や、それを基にした、また課題の洗い出し等またこの会議でご審議いただきたいと思いますので、またよろしくお願いいたします。

会長:よろしいですか。

では本日いろいろご意見いただきましてありがとうございました。

また事務局の方で検討していただきまして、今後の事業に反映させていただきたいと思います。

そのほかですね、何かお気づきの点がございましたら、いつでも事務局宛にご指摘、ご確認、ご意見等いただきたいと思います。

それでは本日の協議会はこれもちまして閉会とさせていただきます。

ご多用の中お集まりいただきましてありがとうございました。